

折に触れ 四字熟語

NO. 26 〔一陽来復〕 いちよう らいふく

< 意味 > 冬が終わり春が来ること。新年が来ること。また、悪いことが続いた後で幸運に向かうこと。

< 出典 > 「易経」復

通 釈： 陰の気がきわまって陽の気にかえる意から。陰暦十月は坤の卦こんかにあたり、十一月は復の卦にあたり、陰ばかりの中に陽が戻ってきたことになる。「復」は陰暦十一月、また、冬至のこと。

一 言： 年頭に当たり、私たちにとって今年がより良い1年になるようお願い、この四字熟語を選んでみました。年賀状にこの熟語を書き加えられた方もあるかと思います。

参照文献： 三省堂「四字熟語辞典」